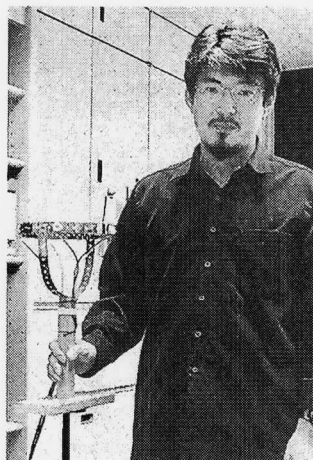


# 声で居場所特定 サル探知機



鳴き声でサルを感知するシステムを開発した横田准教授。右手で持っている装置はマイク

め、同組合が05年5月、横田准教授にシステム開発を依頼した。

横田准教授は「暗い森では視覚は当てにならない」と音を利用する方法を提案した。システムは音を拾う小型マイク、音を増幅させる装置、音を解析するパソコンで構成し、出没するサルの鳴き声の特徴を録音・分析し、自然のさまざまな音からサルの声を識別するプログラムを作った。マイクは直径20センチの円状装置に等間隔で5個取

## 音や光で追い返し 農作物の被害防ぐ

岐阜大・横田准教授が開発

に鳴き声が微妙に異なる。他地域のサルにも対応できるシステムとして完成させる。

上之保地区には10年ほど前からサルが群れで下りてくるようになり、収穫間近のタラの芽やヤマイモを食い荒らす被害が多発。農家の被害が1軒当たり年間約100万、200万円になった

【石山絵歩、写真も】